

静岡市監査委員会議記録

会 議 令和4年度 第1回 監査委員定例協議会

開催日時 令和4年5月10日(火) 午前9時15分～午前10時56分

出席者 監査委員 遠藤 正方、白鳥三和子、福地 健、大石 直樹

事務局長 萩原 健

書記 杉田 陽子

白鳥 浩司、山田 裕、渡辺 篤史

宇佐美亜希、神山 悟

新海 拓也、山本 和延、稲葉 典子

会議内容

1 開会宣言 杉田次長

2 例月現金出納検査等(3月分)

杉田次長から、事務局で実施した企業会計のつり銭資金等の現金在高検査のほか、病院事業会計及び水道事業会計を対象とした棚卸資産実地検査、各種会計の有価証券等検査の結果について、いずれも適正に処理されていることが確認された旨の報告があった。

その後、各会計の区分に応じて、監査委員による説明聴取や質疑のほか、事務局から預金証書等の確認状況の報告を行った。

(1) 説明者等

ア 各種会計 宇佐美係長(監査第2係)

会計室次長、会計室次長補佐兼総務・出納係長、会計室担当者

イ 病院事業会計 白鳥次長補佐(監査第1係)

ウ 簡易水道事業会計 白鳥次長補佐(監査第1係)

エ 水道事業会計 新海係長(監査第3係)

オ 下水道事業会計 宇佐美係長(監査第2係)

(2) 発言等

ア 各種会計

冒頭、検査調書の一部である「公金出納月計表」について、令和4年1月分以降のものの中に、全体としては正しいものの金融機関別の内訳の記載が誤っている部分があったことの報告が、会計室次長からあった。

(白鳥委員)

公金出納月計表について、指定金融機関は、これを作成する際に、各金融機関の残高証明書ではなく静岡市から受けた通知の内容を参照しているということか。また、手元に残

高証明書がない以上、指定金融機関は市から受けた通知に沿って作成するほかないということか。

(会計室)

そのとおりである。

(白鳥委員)

公金出納月計表の内容が残高証明と照合されていないことは問題である。会計室での確認はもちろんだが、事務局においても照合をすべきである。

(遠藤代表)

今回の誤りは、指定金融機関に伝達した入出金の記録の、受入先の金融機関の名称を誤ったことによって生じたとのことであるが、金融機関ごとの預金額の表示に誤りが生じてはいるものの、市の預金総額の表示に誤りはなかったということか。

(会計室)

そのとおりである。

(事務局)

事務局において市全体の預金残高と各金融機関の残高証明書の照合をしていないのかというところではなく、各金融機関の残高証明書との照合は、「公金出納月計表」とは別に電算出力されている帳票により実施している。

(遠藤代表)

公金出納月計表とは照合されていなかったということか。

(白鳥委員)

適切な照合が1月分の検査からできていれば、その時点で覚知されていた誤りで、誤った状態が繰り返されることもなかった。適切な照合を行う責任は、会計室と事務局のどちらにあるのか。

(遠藤代表)

一義的には会計室にあると思うが、事務処理上、誤りが生じることがあっても、適切な確認をすることでこれを発見し、早期に対応できるので、会計室は適切な確認を。また、事務局側も公金月計内訳表の内訳も含めて注意してほしい。

この誤りにより、決算に影響は生じるのか。

(会計室)

影響はない。

(福地委員)

このようなインシデントはよく見られるのか。

(会計室)

同様の事例はここ数年では確認されていない。

(大石委員)

この誤りは組織機構改正により会計課が統合される前の体制の下で発生したものか。また、統合後の新体制には問題はないか。

(会計室)

旧体制下で生じた誤り。新体制の運営は、特段、問題はない。

(遠藤代表)

再発防止を徹底してほしい。

イ 病院事業会計

(白鳥委員)

機械備品勘定の増減について、代表的なものは。

また、資本剰余金の当月借方計上額 1 億円余の内容は。

(事務局)

機械備品勘定について、増加の主なものは血管造影撮影装置の更新による取得 1 億 2000 万円であり、同装置の除却などが貸方に計上されている。

資本剰余金の借方への計上は医療研究奨励鈴与基金の一般会計への移管に伴う会計処理で、先月の検査調書ではいったん未払金に計上していたものを振り替えている。

(遠藤代表)

基金の一般会計への移管について、先月の検査段階では条例は可決されていたものの未払の状態であったが、今回の検査では一般会計側に、病院事業会計で減じた額と同額の基金が積み立てられたということによいか。

(事務局)

そのとおりであり、一般会計側の検査調書である基金受払状況にも、清水地域医療人材育成鈴与基金として記載されている。

ウ 簡易水道事業会計

(福地委員)

今回の検査では、収益勘定の他会計補助金と、費用勘定の研究研修費を対象に伝票の確認を行っているということであるが、確認対象とする科目は、どのように選択するのか。

(事務局)

科目間の偏りが生じないように、各月の検査で対象となった科目を継続的に記録し、記録内容を踏まえながら、可能な範囲で均等になるような選択をしている。

エ 水道事業会計

(白鳥委員)

各固定資産勘定の貸方計上額の内容は。

(事務局)

建物は門屋取水場事務所兼倉庫を、構築物は古くなった配水管等を、機械及び装置は送水用水中モーターポンプ等をそれぞれ除却している。

オ 下水道事業会計

(白鳥委員)

各固定資産勘定の貸方計上額の内容は。

(事務局)

構築物は布設下水道を、機械及び装置は愛染ポンプ場、中島浄化センター、浜田ポンプ場の機械装置を、リース資産は上下水道庁舎ネットワークシステム機器を、それぞれ除却している。

(白鳥委員)

上下水道庁舎ネットワークシステムは更新か。

(事務局)

そのとおりである。

3 協議会議事

(1) 協議事項

ア 協第3号 令和3年度各種会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

イ 協第4号 令和3年度井川財産区会計及び両河内財産区会計歳入歳出決算審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

ウ 令和3年度決算に基づく財政健全化審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

エ 令和3年度決算に基づく公営企業経営健全化審査実施計画の策定について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

(2) 報告事項

報第1号 内部統制の不備に関する報告（令和4年3月分）について

ア 説明者

新海係長

イ 要旨

報告事項により説明

ウ 発言等

特になし

(3) その他連絡事項

ア 令和3年度第12回定例協議会及び令和4年度第1回臨時協議会議事録の公表について・・・・・・・・・・白鳥次長補佐が説明

イ 5月・6月の日程について・・・・・・・・・・杉田次長が説明

4 閉会宣言 杉田次長